

Q15. 全入院患者の中で、最終末期（余命1ヶ月以内と思われる時期）の患者が占めるだいたい割合を教えてください。

合計 135 院

|             |     |
|-------------|-----|
| 1. 5%未満     | 102 |
| 2. 5-10%未満  | 26  |
| 3. 10-20%未満 | 7   |
| 4. 20-30%未満 | 0   |
| 5. 30%以上未満  | 0   |

Q16. 貴院では全体として、入院患者が治る見込みがない病気に罹患した場合、その治療方針を決定するにあたり、まずどなたの意見を聞かれますか？

合計 134 院

|                           |    |
|---------------------------|----|
| 1. まず患者本人の意見を聞く           | 12 |
| 2. 状況を見て、患者か家族かどちらかの意見を聞く | 81 |
| 3. まず家族の意見を聞く             | 41 |
| 4. 患者本人、家族ともに意見を聞かない      | 0  |
| 5. わからない                  | 0  |

Q17. 致命的な疾患した終末期（余命6ヵ月あるいはそれより短いと思われる時期）の入院患者に、その後の治療について抗がん剤治療などの「積極的な治療」を目指すか、または「緩和ケア」に徹するかなど、治療方針を確認するケースは全終末期患者のうちのどのくらいですか？

合計 136 院

|              |    |
|--------------|----|
| 1. 10%未満     | 32 |
| 2. 10-20%未満  | 13 |
| 3. 20-30%未満  | 8  |
| 4. 30-40%未満  | 10 |
| 5. 40-60%未満  | 22 |
| 6. 60-80%未満  | 17 |
| 7. 80-100%未満 | 18 |
| 8. 100%      | 16 |

Q18. 致死的な疾患した終末期（余命6ヵ月あるいはそれより短いと思われる時期）の入院患者の家族に、その後の治療について抗がん剤治療などの「積極的な治療」を目指すか、または「緩和ケア」に徹するかなど、治療方針を確認するケースは全終末期患者のうちのどのくらいですか？

合計 136 院

|              |    |
|--------------|----|
| 1. 10%未満     | 8  |
| 2. 10-20%未満  | 1  |
| 3. 20-30%未満  | 2  |
| 4. 30-40%未満  | 1  |
| 5. 40-60%未満  | 11 |
| 6. 60-80%未満  | 7  |
| 7. 80-100%未満 | 44 |
| 8. 100%      | 62 |

Q19. 致死的な疾患に罹患した入院患者の最終末期（余命1ヶ月以内と思われる時期）に、延命処置（心臓マッサージ、気管内挿管、気管切開、人工呼吸器の装着、昇圧剤投与などの医療行為）を行うケースはどのくらいを占めますか？

合計 135 院

|              |    |
|--------------|----|
| 1. 10%未満     | 84 |
| 2. 10-20%未満  | 16 |
| 3. 20-30%未満  | 9  |
| 4. 30-40%未満  | 7  |
| 5. 40-60%未満  | 11 |
| 6. 60-80%未満  | 5  |
| 7. 80-100%未満 | 1  |
| 8. 100%      | 2  |

Q20. 致死的な疾患に罹患した入院患者の最終末期（余命1ヶ月以内と思われる時期）に、延命処置（心臓マッサージ、気管内挿管、気管切開、人工呼吸器の装着、昇圧剤投与などの医療行為）に関する要望を本人に確認するケースはどのくらいですか？

合計 136 院

|              |    |
|--------------|----|
| 1. 10%未満     | 97 |
| 2. 10-20%未満  | 13 |
| 3. 20-30%未満  | 10 |
| 4. 30-40%未満  | 3  |
| 5. 40-60%未満  | 4  |
| 6. 60-80%未満  | 2  |
| 7. 80-100%未満 | 5  |
| 8. 100%      | 2  |

Q21. 致死的な疾患に罹患した入院患者の最終末期（余命1ヶ月以内と思われる時期）に、延命処置（心臓マッサージ、気管内挿管、気管切開、人工呼吸器の装着、昇圧剤投与などの医療行為）に関する要望を、その患者の家族に確認するケースはどのくらいですか？

合計 136 院

|              |    |
|--------------|----|
| 1. 10%未満     | 4  |
| 2. 10-20%未満  | 2  |
| 3. 20-30%未満  | 2  |
| 4. 30-40%未満  | 2  |
| 5. 40-60%未満  | 7  |
| 6. 60-80%未満  | 4  |
| 7. 80-100%未満 | 49 |
| 8. 100%      | 66 |

Q22. 貴院の終末期（余命6ヵ月あるいはそれより短いと思われる時期）の入院患者の中で、治療を必要とするような痛みが出現するケースはどのくらいですか？

平均 49.2% (SD±28.4)

Q23. その場合、痛みの治療にモルヒネを使用する割合は、痛みが出現した終末期患者のうちのどのくらいですか？

平均 77.0% (SD±29.6)

Q24. 貴院の終末期（余命 6 ヶ月あるいはそれより短いと思われる時期）の入院患者の中で、抑うつ・不安などの精神症状が出現するケースはどのくらいですか？

平均 47.0% (SD±27.3)

Q25. 貴院の終末期（余命 6 ヶ月あるいはそれより短いと思われる時期）の入院患者の中で、抑うつ・不安などの精神症状が出現した場合、貴院では主にだれが対応をしていますか？

|                  | 合計  |
|------------------|-----|
| 1. 特に対応は決まっていない  | 1   |
| 2. 主治医が対応        | 103 |
| 3. 看護師が対応        | 97  |
| 4. コメディカルが対応     | 8   |
| 5. 心理士が対応        | 7   |
| 6. ソーシャルワーカーが対応  | 16  |
| 7. 精神科医・心療内科医が対応 | 18  |
| 8. その他（ ）        | 3   |

Q26. 貴院の終末期入院患者の中で、せん妄が出現するケースはどのくらいですか？

平均 20.6% (SD±17.6)

Q27. 貴院の終末期入院患者の中で、せん妄が出現した場合、貴院では主にだれが対応をしていますか？

|                  | 合計  |
|------------------|-----|
| 1. 特に対応は決まっていない  | 3   |
| 2. 主治医が対応        | 122 |
| 3. 看護師が対応        | 74  |
| 4. コメディカルが対応     | 4   |
| 5. 心理士が対応        | 1   |
| 6. ソーシャルワーカーが対応  | 3   |
| 7. 精神科医・心療内科医が対応 | 17  |
| 8. その他 ( )       | 3   |

Q28. 貴院で死亡した入院患者の中で、鎮静(Deep Sedation: 呼びかけに応じない程度に意識を深く低下させるレベル)を必要とした患者の割合はどのくらいですか？

合計 132 院

|             |    |
|-------------|----|
| 1. 5%未満     | 68 |
| 2. 5-10%未満  | 35 |
| 3. 10-20%未満 | 16 |
| 4. 20-30%未満 | 12 |
| 5. 30%以上未満  | 1  |

Q29. あなたは終末期医療の普及に関し、どのようなことをじゅうじつさせていくべきだとお考えですか？

合計

|                                             |    |
|---------------------------------------------|----|
| 1. 終末期医療に従事する医療従事者の確保                       | 65 |
| 2. 医師・看護師等医療従事者や、介護施設職員に対する、卒然・卒後教育や生涯研修の充実 | 90 |
| 3. 研究活動の推進                                  | 11 |
| 4. 患者、家族への相談体制の充実                           | 72 |
| 5. 在宅医療で十分な終末期医療が行えるような体制づくり                | 93 |
| 6. 緩和ケア病棟の設置と拡充                             | 40 |
| 7. 一般病棟において十分な終末期医療が行えるような体制づくり             | 60 |
| 8. 一般市民に対する教育活動                             | 42 |
| 9. 意思表示の事前文書などの法的整備                         | 43 |
| 10. 終末期医療への経済的評価                            | 67 |
| 11. その他                                     | 5  |
| 12. 特になし                                    | 0  |

Q30-1. あなたは、終末期医療に対して、悩みや疑問を感じた経験がありますか。あなたのお考えに近いものをお選びください。

合計 134 院

|             |    |
|-------------|----|
| 1. 頻繁に感じる   | 63 |
| 2. たまに感じる   | 66 |
| 3. 感じたことはない | 5  |

Q30-2. 痛みを伴い、しかも治る見込みがなく死期が迫っている（余命 6 ヶ月あるいはそれより短いと思われる）患者の診察に自らが関わって、どんな困難を感じていますか。

|                                   | 合計 |
|-----------------------------------|----|
| 1. 患者へ病名、病状の説明をすること               | 70 |
| 2. 痛みをはじめとした症状を緩和すること             | 37 |
| 3. 患者や家族と話し合う時間を持つこと              | 38 |
| 4. 患者や家族のための病院内の設備や終末期医療の施設が乏しいこと | 59 |
| 5. 在宅医療を実施したくても、体制が十分でないこと        | 51 |
| 6. 延命のための医療を中止すること                | 15 |
| 7. 医療チームで意見がわかれること                | 11 |
| 8. その他（具体的に）                      | 7  |
| 9. 特になし                           | 2  |

Q31. 終末期患者（余命 6 ヶ月あるいはそれより短いと思われる患者）の社会・経済的側面についての相談があった時に対応するのは誰ですか。

|              | 合計 |
|--------------|----|
| 1. 主治医       | 50 |
| 2. 看護師       | 22 |
| 3. ソーシャルワーカー | 81 |
| 4. 病院事務員     | 30 |
| 5. 特に決まっていない | 13 |
| 6. その他（ ）    | 0  |

Q32. 終末期入院患者（余命 6 ヶ月あるいはそれより短いと思われる患者）の中で、貴院から他院の緩和ケア病棟やホスピスに紹介するケースはどのくらいありますか？

合計 134 院

|             |     |
|-------------|-----|
| 1. 5%未満     | 111 |
| 2. 5・10%未満  | 15  |
| 3. 10・20%未満 | 4   |
| 4. 20・30%未満 | 4   |
| 5. 30%以上未満  | 0   |

Q33. 終末期入院患者（余命 6 ヶ月あるいはそれより短いと思われる患者）の中で、貴院から在宅療養に移行したケースはどのくらいありますか？

合計 131 院

|             |    |
|-------------|----|
| 1. 5%未満     | 93 |
| 2. 5・10%未満  | 21 |
| 3. 10・20%未満 | 8  |
| 4. 20・30%未満 | 5  |
| 5. 30%以上未満  | 4  |

Q34. 在宅の終末期患者（余命 6 ヶ月あるいはそれより短いと思われる患者）が体調不良のために（再）入院し、その後貴院にて亡くなるケースは全死亡者のうちのどのくらいですか？

合計 112 院

|             |    |
|-------------|----|
| 1. 5%未満     | 50 |
| 2. 5・10%未満  | 21 |
| 3. 10・20%未満 | 14 |
| 4. 20・30%未満 | 16 |
| 5. 30%以上未満  | 11 |



Q35. 最後に、あなたが考える「尊厳ある死」とは、次の項目の中でもっともふさわしいと思われるものを一つだけお選びください。

合計 130 院

|                           |    |
|---------------------------|----|
| 1. 最後まで、できる限りの治療をすること     | 4  |
| 2. 延命処置をしないこと             | 9  |
| 3. 本人が苦痛でないよう緩和をすること      | 93 |
| 4. 家族が納得するまで、できる限りの治療すること | 6  |
| 5. その他                    | 18 |

## 2. 特別養護老人ホーム



## 2. 特別養護老人ホーム

WAM NET (<http://www.wam.go.jp>) より、500 の特別養護老人ホーム (2004 年 2 月現在、全国で 5135 施設) を北海道、東京、大阪、福岡から各々 22 施設、その他の府県からは各々 10 施設を無作為抽出し、施設長宛てに郵送した。

### Q1. 貴施設の所在地 (都道府県名) はどちらですか？

|     |   |     |   |
|-----|---|-----|---|
| 愛知  | 2 | 秋田  | 2 |
| 愛媛  | 4 | 新潟  | 7 |
| 茨城  | 1 | 神奈川 | 2 |
| 岡山  | 1 | 青森  | 3 |
| 沖縄  | 4 | 静岡  | 5 |
| 岩手  | 7 | 石川  | 4 |
| 岐阜  | 4 | 千葉  | 3 |
| 宮崎  | 1 | 大阪  | 6 |
| 宮城  | 5 | 大分  | 3 |
| 京都  | 4 | 長崎  | 1 |
| 熊本  | 4 | 長野  | 3 |
| 群馬  | 1 | 鳥取  | 2 |
| 広島  | 2 | 島根  | 3 |
| 香川  | 2 | 東京  | 1 |
| 高知  | 2 | 徳島  | 4 |
| 佐賀  | 3 | 栃木  | 3 |
| 埼玉  | 1 | 奈良  | 2 |
| 三重  | 3 | 富山  | 5 |
| 山形  | 5 | 福岡  | 3 |
| 山口  | 6 | 福島  | 4 |
| 山梨  | 1 | 北海道 | 8 |
| 滋賀  | 3 | 和歌山 | 2 |
| 鹿児島 | 2 | 不明  | 1 |

合計 145 施設

### Q2-1. 入所者の定員は何名ですか？

平均 71.1 名 (SD±25.3)

Q3. 年間新規入所者数は？

平均 13.8 名 (SD±10.6)

Q4. 年間退所者数は？

平均 12.0 名 (SD±7.5)

Q5. 入所者の平均入居日数はどのくらいですか？

平均 1542.8 日 (SD±2622.6 日)

Q6. 入所者のうち、以下の疾患をお持ちの方の割合を教えてください。

| 疾患名    | 平均値 (%) | 標準偏差 |
|--------|---------|------|
| 悪性新生物  | 5.4     | 6.8  |
| 脳血管疾患  | 53.9    | 23.0 |
| 循環器系疾患 | 34.4    | 22.2 |
| 痴呆性疾患  | 64.7    | 25.4 |

Q7. 年間死亡退所者数は？

平均 9.9 名 (SD±6.6)

Q8. 死亡退所者のうち、主な基礎疾患が次の疾患である患者の割合を教えてください。

| 疾患名    | 平均値 (%) | 標準偏差 |
|--------|---------|------|
| 悪性新生物  | 6.6     | 8.7  |
| 脳血管疾患  | 31.8    | 29.1 |
| 循環器系疾患 | 37.4    | 30.3 |

Q9. 入所者の家族のうち、入所者への対応などの問題で一番相談することの多い相手はだれですか？当てはまるものに○をして下さい。

|            |        |
|------------|--------|
| 子ども        | 128    |
| 配偶者と子ども    | 9      |
| 兄弟と子ども     | 2      |
| 子どもと孫      | 1      |
| 子どもと配偶者    | 1      |
| 配偶者と兄弟と子ども | 1      |
| 配偶者と兄弟     | 1      |
| 配偶者と孫      | 1      |
| 配偶者        | 1      |
| 合計         | 145 施設 |

注) 複数回答をしてきた施設あり。

Q10. 貴施設は併設医療機関がありますか？当てはまるものに○をして下さい。

|          |        |
|----------|--------|
| ある       | 2      |
| ある 診療所   | 14     |
| ある 病院    | 21     |
| ある 他     | 1      |
| ある病院&診療所 | 2      |
| ない       | 105    |
| 合計       | 145 施設 |

Q11. 全入所者の中で、終末期（余命 6 ヶ月あるいはそれより短いと思われる時期）の者が占める割合を教えてください。

合計 130 施設

|             |     |
|-------------|-----|
| 1. 5%未満     | 103 |
| 2. 5・10%未満  | 15  |
| 3. 10・20%未満 | 7   |
| 4. 20・30%未満 | 3   |
| 5. 30%以上未満  | 2   |

Q12. 終末期（余命6ヵ月あるいはそれより短いと思われる時期）の入所者本人は病名をご存知ですか？病名告知率はどの程度でしょうか？

合計 129 院

|              |     |
|--------------|-----|
| 1. 10%未満     | 123 |
| 2. 10-20%未満  | 3   |
| 3. 20-30%未満  | 1   |
| 4. 30-40%未満  | 1   |
| 5. 40-60%未満  | 0   |
| 6. 60-80%未満  | 0   |
| 7. 80-100%未満 | 0   |
| 8. 100%      | 1   |

Q13. 終末期（余命6ヵ月あるいはそれより短いと思われる時期）の入所者の家族への病名告知率はどの程度でしょうか？

合計 131 院

|              |    |
|--------------|----|
| 1. 10%未満     | 17 |
| 2. 10-20%未満  | 3  |
| 3. 20-30%未満  | 2  |
| 4. 30-40%未満  | 0  |
| 5. 40-60%未満  | 2  |
| 6. 60-80%未満  | 3  |
| 7. 80-100%未満 | 24 |
| 8. 100%      | 80 |

Q14. 貴施設では全体としてみて、入所者が治る見込みがない病気に罹患した場合、その病名や病気の見通し（治療期間、余命）について、どなたにお話になりますか？

合計 138 院

|                          |     |
|--------------------------|-----|
| 1. 必ずはじめに本人に説明する         | 0   |
| 2. 状況を見て、本人か家族かどちらかに説明する | 13  |
| 3. 家族に説明する               | 121 |
| 4. 本人と家族同時に説明する          | 2   |
| 5. わからない                 | 2   |

Q15. 終末期（余命 6 ヶ月あるいはそれより短いと思われる時期）の入所者本人への余命告知率はどの程度でしょうか？

合計 128 院

|              |     |
|--------------|-----|
| 1. 10%未満     | 125 |
| 2. 10-20%未満  | 0   |
| 3. 20-30%未満  | 1   |
| 4. 30-40%未満  | 1   |
| 5. 40-60%未満  | 0   |
| 6. 60-80%未満  | 0   |
| 7. 80-100%未満 | 0   |
| 8. 100%      | 1   |



Q16. 終末期（余命 6 ヶ月あるいはそれより短いと思われる時期）の入所者の家族への余命告知率はどの程度でしょうか？

合計 130 院

|              |    |
|--------------|----|
| 1. 10%未満     | 15 |
| 2. 10-20%未満  | 3  |
| 3. 20-30%未満  | 0  |
| 4. 30-40%未満  | 0  |
| 5. 40-60%未満  | 2  |
| 6. 60-80%未満  | 6  |
| 7. 80-100%未満 | 22 |
| 8. 100%      | 82 |

Q17. 全入所者の中で、最終末期（余命 1 ヶ月以内と思われる時期）の者が占める割合を教えてください。

合計 126 院

|             |     |
|-------------|-----|
| 1. 5%未満     | 119 |
| 2. 5-10%未満  | 5   |
| 3. 10-20%未満 | 1   |
| 4. 20-30%未満 | 1   |
| 5. 30%以上未満  | 0   |

Q18. 貴施設では全体としてみて、入所者が治る見込みがない病気に罹患した場合、その方へのケアの方針を決定するにあたり、まずどなたの意見を聞かれますか？

合計 137 院

|                           |    |
|---------------------------|----|
| 1. まず患者本人の意見を聞く           | 0  |
| 2. 状況を見て、患者か家族かどちらかの意見を聞く | 48 |
| 3. まず家族の意見を聞く             | 88 |
| 4. 患者本人、家族ともに意見を聞かない      | 0  |
| 5. わからない                  | 1  |

Q19. 致命的な疾患した終末期（余命 6 ヶ月あるいはそれより短いと思われる時期）の入所者に、その後の治療について抗がん剤治療などの「積極的な治療」を目指すか、またはそのまま貴施設などで「緩和ケア」に徹するかなど、ケアの方針を確認するケースは全終末期入所者のうちのどのくらいですか？

合計 136 院

|              |    |
|--------------|----|
| 1. 10%未満     | 80 |
| 2. 10-20%未満  | 3  |
| 3. 20-30%未満  | 4  |
| 4. 30-40%未満  | 2  |
| 5. 40-60%未満  | 2  |
| 6. 60-80%未満  | 3  |
| 7. 80-100%未満 | 11 |
| 8. 100%      | 24 |

Q20. 致命的な疾患した終末期（余命 6 ヶ月あるいはそれより短いと思われる時期）の入所者の家族に、その後の治療について抗がん剤治療などの「積極的な治療」を目指すか、またはそのまま貴施設などで「緩和ケア」に徹するかなど、ケアの方針を確認するケースは全終末期入所者のうちのどのくらいですか？

合計 129 院

|              |    |
|--------------|----|
| 1. 10%未満     | 35 |
| 2. 10-20%未満  | 2  |
| 3. 20-30%未満  | 0  |
| 4. 30-40%未満  | 1  |
| 5. 40-60%未満  | 3  |
| 6. 60-80%未満  | 3  |
| 7. 80-100%未満 | 15 |
| 8. 100%      | 70 |

Q21. 致命的な疾患に罹患した入所者の最s終末期（余命1ヶ月以内と思われる時期）に、延命処置（心臓マッサージなどの行為）を行うケースはどのくらいを占めますか？

合計 126 院

|              |    |
|--------------|----|
| 1. 10%未満     | 97 |
| 2. 10-20%未満  | 6  |
| 3. 20-30%未満  | 2  |
| 4. 30-40%未満  | 1  |
| 5. 40-60%未満  | 6  |
| 6. 60-80%未満  | 3  |
| 7. 80-100%未満 | 5  |
| 8. 100%      | 6  |

Q22. 致命的な疾患に罹患した最終末期（余命1ヶ月以内と思われる時期）の入所者本人に、貴施設内での延命処置（心臓マッサージなどの行為）に関する要望を確認するケースはどのくらいですか？

合計 123 院

|              |     |
|--------------|-----|
| 1. 10%未満     | 103 |
| 2. 10-20%未満  | 0   |
| 3. 20-30%未満  | 2   |
| 4. 30-40%未満  | 2   |
| 5. 40-60%未満  | 0   |
| 6. 60-80%未満  | 1   |
| 7. 80-100%未満 | 2   |
| 8. 100%      | 13  |

Q23. 致死的な疾患に罹患した最終末期（余命 1 ヶ月以内と思われる時期）の入所者の家族に、貴施設内での延命処置（心臓マッサージなどの行為）に関する要望を確認するケースはどのくらいですか？

合計 123 院

|              |    |
|--------------|----|
| 1. 10%未満     | 37 |
| 2. 10-20%未満  | 3  |
| 3. 20-30%未満  | 2  |
| 4. 30-40%未満  | 1  |
| 5. 40-60%未満  | 1  |
| 6. 60-80%未満  | 2  |
| 7. 80-100%未満 | 14 |
| 8. 100%      | 63 |

Q24. 貴施設の終末期（余命 6 ヶ月あるいはそれより短いと思われる時期）の入所者の中で、治療を必要とするような痛みが出現するケースはどのくらいの割合ですか？

平均 5.2% (SD±11.4)

Q25. その場合、痛みの治療にモルヒネを使用する割合は、痛みが出現した終末期入所者のうちのどのくらいですか？

平均 3.5% (SD±12.3)

Q26. 貴施設の終末期（余命 6 ヶ月あるいはそれより短いと思われる時期）の入所者の中で、何らかの対応が必要な抑うつ・不安などの精神的な症状が出現するケースはどのくらいですか？

平均 11.2% (SD±18.1)